

特集

全国技術系 勉強会マップ

～技術者のライブセッションに参加しよう!～

編集に あたって

田中秀樹 (国立情報学研究所)

ずいぶん昔のことになりますが「勉強会」や「読書会」を遠くから、少し否定的な目で見ていた私があります。当時の私はあまりポジティブにその活動を捉えていませんでした。ふと思い立って、初めて参加した「勉強会」で、その考えは一変しました。高度な内容と活発な議論、それにもまして「楽しさ」を感じ、研究／開発のあるべき姿をそこに見ました。もっと研究／開発に携わる多くの皆様に、勉強会、読書会を知ってほしい、そんな思いから、この企画を提案させていただきました(セッション1～4)。

主催者の皆様にご執筆をお願いするにあたり、Twitter(ツイッター)やFacebook(フェイスブック)を使って呼びかけを行いました。従来であれば、電

■勉強会について知る■

セッション1 技術系勉強会が熱い

セッション2 イベント開催支援ツール「ATND（アテンド）」の裏側

セッション3 勉強会は何を生み出したか？ 勉強会を支援する側から

セッション4 よく分かる！ 勉強会の作り方

■勉強会に参加する■

セッション5 全国技術系勉強会マップ～主催者からのメッセージ～

- ・北海道 … LOCAL 学生部 ほか
- ・東北 …… 東北情報セキュリティ勉強会 ほか
- ・関東 …… 日本 Android の会 群馬支部 ほか
- ・中部 …… HTML5-FIT ほか
- ・近畿 …… Ruby/Rails 勉強会 ほか
- ・中国 …… OpenOffice.org 講習会 ほか
- ・四国 …… オープンフォース ほか
- ・九州 …… AppleKnight ほか
- ・沖縄 …… Java Küche ほか
- ・米国 …… 米国シリコンバレーにおける勉強会事情

話やメールなどでご執筆をお願いすることが一般的ですが、今回はいわゆるソーシャルメディアを利用いたしました。私にとって、ソーシャルメディアを用いた大きな活動は初めてだったため、正直に申し上げれば主催者の皆様からのレスポンスを少し心配していました。しかしその心配は、杞憂に終わりました。大変多くの皆様からご協力を申し出ていただくことができました（セッション5）。もし私が従来のスタイルで主催者の皆様にお声がけしていたら、こんなにも多くの方にご協力いただくことはできなかったでしょう。

これもインターネットを具現化し、Webを開発し、そしてソーシャルメディアを花開かせたソフトウェ

ア技術の賜物であると感じています。

本特集が皆様の活動にお役に立つことを願っております。

なお、文中にある@XXXXXなどの記載は、一般的にTwitterのアカウントです。たとえば@hdkworksという記載がある場合には、Twitter (<http://twitter.com>) の検索窓から hdkworks と検索していただくか、TwitterのURLに hdkworks と追記して、<http://twitter.com/hdkworks/> をブラウザ閲覧すると当該ユーザの発言が見えるようになります。

(平成23年2月3日)